

子宮頸がん予防ワクチン（ガーダシル）の副反応報告状況について

○組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）

商品名：ガーダシル

製造販売業者：MSD株式会社

販売開始：平成23年8月

効能・効果：ヒトパピローマウイルス6、11、16及び18型の感染に起因する以下の疾患の予防

- ・子宮頸癌（扁平上皮細胞癌及び腺癌）及びその前駆病変（子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）1、2及び3並びに上皮内腺癌（AIS））
- ・外陰上皮内腫瘍（VIN）1、2及び3並びに腔上皮内腫瘍（VaIN）1、2及び3
- ・尖圭コンジローマ

1. 副反応報告数（販売開始から3月31日報告分まで：報告日での集計）

製造販売業者より報告された、平成24年3月31日までの医療機関納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応報告頻度を計算したものは以下のとおり。

なお、製造販売業者によると、接種スケジュールを勘案し、これまでの1人あたりの平均接種回数を1.7回と仮定して医療機関納入数量より推計した接種者数は、31万人とのことである。

（単位：例（人））

	接種可能なべ人数 （回分）	製造販売業者からの報告	医療機関からの報告	
		報告数 （報告頻度）	全報告数 （報告頻度）	うち重篤
平成23年12月1日～ 平成24年3月31日	242,936	14（0） 0.006%（0%）	22 0.009%	1（0） 0.0004%（0%）
販売開始からの累計	530,826	19（0） 0.004%（0%）	69 0.013%	7（0） 0.0013%（0%）

（注意点）

- ※ 製造販売業者からの報告は、販売開始～平成24年3月31日までの報告分、医療機関からの報告は、平成23年9月20日～平成24年3月31日までの報告分である。
- ※ （ ）内は死亡報告数とその報告頻度を示している。
- ※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。
- ※ 製造販売業者からの副反応報告は、薬事法第77条の4の2に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性がある。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

2. ワクチン接種事業に基づく医療機関からの副反応報告について

(1) 副反応報告数及び推定接種者数

(販売開始から3月31日接種分まで：接種日での集計)

販売開始から平成24年3月末までの接種者の数について、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業を実施している市町村から、平成24年5月17日までに都道府県を通じて報告のあったものを取りまとめた。

期間	都道府県数	接種者数
平成23年9月	47	80,630
平成23年10月	47	28,481
平成23年11月	47	78,344
平成23年12月	47	46,389
平成24年1月	46	18,028
平成24年2月	46	28,762
平成24年3月	44	86,295

①報告全体

(単位：例(人))

	推定接種者数(回分) (小学6年生～高校2年生)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	うち死亡報告数 (報告頻度)
平成23年12月1日～ 平成24年3月31日	179,474	22 0.012%	1 0.0006%	0 0%
接種事業開始からの累 計	366,929	69 0.019%	7 0.0019%	0 0%

②医療機関から「関連あり」として報告されたもの

(単位：例(人))

	推定接種者数(回分) (小学6年生～高校2年生)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	うち死亡報告数 (報告頻度)
平成23年12月1日～ 平成24年3月31日	179,474	16 0.009%	1 0.0006%	0 0%
接種事業開始からの累 計	366,929	44 0.012%	7 0.0019%	0 0%

③医療機関から「関連なし」「評価不能」として報告されたもの

(単位:例(人))

	接種者数(回分) (小学6年生~高校2年生)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	うち死亡報告数 (報告頻度)
平成23年12月1日~ 平成24年3月31日	179,474	6	0	0
		0.003%	0%	0%
接種事業開始からの累 計	366,929	25	0	0
		0.007%	0%	0%

(注意点)

- ※ 今回の接種事業では、接種との因果関係の有無に関わらず、「接種後の死亡、臨床症状の重篤なもの、後遺症を残す可能性のあるもの」に該当すると判断されるものを報告対象としている。
- ※ 重篤とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものをいうが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。
- ※ 推定接種者数は、各月の報告による。なお、報告のあった市区町村において、すべての医療機関からの報告を受けているとは限らない。
- ※ 接種事業の対象とならない症例が含まれている。

重篤症例一覧
(平成23年8月販売開始から平成24年3月31日までの報告分)

医療機関からの報告

NO	年齢 (代)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	基礎疾患など	副反応名	副反応発生日	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
1	10	女	平成23年9月17日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神寸前の状態	平成23年9月17日	関連有り	重篤	平成23年9月18日	回復
2	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	あり 3才時ケイレン	意識レベルの低下、頭痛	平成23年9月24日	関連有り	重篤	平成23年9月24日	回復
3	10	女	平成23年9月25日	ガーダシル	9QN01R	なし しかし 症状出現後、平成20年11月インフルエンザワクチン後、平成22年9月、熱中症時意識消失発作があった。	意識消失	平成23年9月25日	関連有り	重篤	平成23年9月25日	回復
4	10	女	平成23年9月29日	ガーダシル	9QN01R	なし	血圧低下	平成23年9月29日	関連有り	重篤	平成23年9月29日	回復
5	10	女	平成23年10月11日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神	平成23年10月11日	関連有り	重篤	平成23年10月11日	回復
6	10	女	平成23年10月25日	ガーダシル	9QN02R	なし	失神、ショック、呼吸困難、ジスキネジー	平成23年10月25日	関連有り	重篤	平成23年10月29日	軽快
7	10	女	平成23年12月3日	ガーダシル	9QN01R		ショック、血圧低下、蒼白	平成23年12月3日	関連有り	重篤	平成23年12月4日	回復

(MedDRA/J Version (14.0))

重篤症例一覧
(平成23年8月販売開始から平成24年3月31日までの報告分)

製造販売業者からの報告

NO	年齢 (代)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	基礎疾患など	副反応名	副反応発生日	重篤度	転帰日	転帰内容
1	10	女	平成23年9月15日	ガーダシル	9QN01R		意識消失	平成23年9月15日	重篤	平成23年9月15日	回復
2	10	女	平成23年9月21日	ガーダシル		自己免疫性甲状腺炎、顎骨線維性骨異形成	ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	平成23年9月30日	重篤	平成23年10月7日	回復
3	10	女	平成23年9月21日	ガーダシル	9QN01R	不整脈	失神、発疹	平成23年9月24日	重篤	平成23年9月24日	回復
4	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R		間代性痙攣、挫傷、失神、流涙増加、傾眠	平成23年9月24日	重篤	平成23年9月24日	不明
5	20	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R		血小板数減少、血中乳酸脱水素酵素増加、頭痛、白血球数減少、発熱	平成23年9月26日	重篤	平成24年1月10日	軽快
6	10	女	平成23年9月29日	ガーダシル	9QN01R		失神、蒼白、痙攣	平成23年9月29日	重篤	平成23年9月29日	回復
7	10	女	平成23年9月30日	ガーダシル		意識消失	意識消失、痙攣	平成23年9月30日	重篤	平成23年9月30日	回復
8	20	女	平成23年12月7日	ガーダシル	9QN01R		失神、顎の骨折、裂傷、歯の完全脱臼、歯牙破折	平成23年12月7日	重篤	平成23年12月7日	未回復
9	10	女	平成23年12月9日	ガーダシル	9QN01R		意識消失	平成23年12月9日	重篤	平成23年12月9日	回復
10	10	女	平成23年12月26日	ガーダシル	9QN01R		スティーブンス・ジョンソン症候群、頭痛、発熱、悪心	平成24年1月5日	重篤	平成24年1月12日	軽快
11	10	女	平成23年12月26日	ガーダシル		喘息	疼痛、腫脹	平成23年12月26日	重篤		不明
12	10	女	平成24年1月13日	ガーダシル	9QN02R		失神、痙攣、口腔内損傷	平成24年1月13日	重篤	平成24年1月13日	不明
13	20	女	平成24年1月13日	ガーダシル			感覚鈍麻、筋骨格痛	平成24年2月10日	重篤		未回復
14	10	女	平成24年1月21日	ガーダシル	9QN01R		神経原性ショック	平成24年1月21日	重篤	平成24年1月21日	回復
15	20	女	平成24年2月22日	ガーダシル	9QN02R	意識消失	失神、痙攣	平成24年2月22日	重篤	平成24年2月22日	回復
16	10	女	平成24年2月25日	ガーダシル	9QN03R		失神、痙攣	平成24年2月25日	重篤	平成24年2月25日	回復
17	10	女	平成24年2月27日	ガーダシル	9QN02R		失神	平成24年2月27日	重篤	平成24年2月27日	回復
18	10	女	平成24年3月15日	ガーダシル			失神、間代性痙攣	平成24年3月15日	重篤	平成24年3月15日	回復
19	10	女		ガーダシル			再生不良性貧血		重篤		不明

(MedDRA/J Version (14.0))

子宮頸がん予防ワクチン(ガーダシル)の副反応報告状況

平成23年8月販売開始から平成24年3月31日までに報告された副反応例数及び副反応種類別報告件数は以下のとおり。
医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告
副反応症例数	7	19
副反応件数	13	45
推定接種可能人数(回分)	530,826	
副反応の種類	副反応の種類別件数	
胃腸障害		
悪心		1
一般・全身障害および投与部位の状態		
腫脹		1
発熱		2
疼痛		1
眼障害		
* 流涙増加		1
筋骨格系および結合組織障害		
筋骨格痛		1
血液およびリンパ系障害		
* 再生不良性貧血		1
血管障害		
ショック	2	
神経原性ショック		1
蒼白	1	1
呼吸器、胸郭および縦隔障害		
呼吸困難	1	
傷害、中毒および処置合併症		
顎の骨折		1
口腔内損傷		1
挫傷		1
歯の完全脱臼		1
歯牙破折		1
裂傷		1
神経系障害		
* ジスキネジー	1	
意識レベルの低下	1	
意識消失	1	3
* 感覚鈍麻		1
間代性痙攣		2
* 傾眠		1
失神	2	9
失神寸前の状態	1	
頭痛	1	2
痙攣		5
皮膚および皮下組織障害		
* スティーブンス・ジョンソン症候群		1
* ヘノッホ・シェーンライン紫斑病		1
発疹		1
臨床検査		
血圧低下	2	
血小板数減少		1
* 血中乳酸脱水素酵素増加		1
* 白血球数減少		1

*未知の事象

ガーダシル

アナフィラキシー※が疑われる副反応症例

※【選択基準】

副反応名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」として報告された症例

2011年12月1日～2012年3月31日入手分まで

No.	年齢(代)・性別	既往歴*	経過	副反応名	ロット	転帰	ブライTON 分類レベル (企業評価)	ブライTON 分類レベル (専門家評 価)	専門家の意見
1	10歳代・女性		16:30 2回目のガーダシルを筋肉内に接種。併用薬の情報なし。 接種3分後、花粉症の抗体検査のために採血。 その後、収縮期血圧が80まで下がり、ショックを起こし、腹痛を訴えた。 アナフィラキシーショック発現。 アドレナリン0.3mgを点滴し、収縮期血圧140mmHgまで上昇。 他院に搬送。 報告時、アナフィラキシーショックの転帰は不明。	アナフィラキシーショッ ク	調査中	不明	2	5	○ 血管迷走神経反射と考えられる。 ○ 迷走神経反射の可能性はある。 ○ 情報不足

アナフィラキシーの可能性のある症例(ガーダシル)※

報告期間	症例数	専門家の評価によりアナフィラキシーの ブライトン分類評価が3以上とされた症例	推定接種人数
平成23年8月～平成23年11月	1	0	17万人
平成23年12月～平成24年3月	1	0	24万人

(平成24年3月31日現在)

※選択基準

副反応名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」として報告された症例

迷走神経反射が疑われる副反応症例での アナフィラキシーの可能性について

【選択基準】

本資料の重篤症例一覧にある症例のうち、2011年12月1日から2012年3月31日までに報告された症例から、下記のPTを含む症例を迷走神経反射が疑われる症例として選択

- ・ MedDRA SOC 血管障害のうち、以下の MedDRA PT に該当する症例（低血圧、蒼白、末梢冷感、ショック、神経原性ショック）
- ・ MedDRA SOC 神経系障害のうち、以下の MedDRA PT に該当する症例（痙攣、意識消失、失神寸前の状態、失神）
- ・ 上記以外の MedDRA SOC のうち、以下の MedDRA PT に該当する症例（転倒、血圧低下、冷感、冷汗）

これらの症例について、ブライトン分類による評価を行い、アナフィラキシーの可能性を検討した。

迷走神経反射が疑われる症例	うち、アナフィラキシーが疑われる （ブライトン分類3以上の）症例
8例	0例

非重篤症例一覧
(平成23年8月販売開始から平成24年3月31日までの報告分)

医療機関からの報告

NO	年齢(代)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	基礎疾患など	副反応名	副反応発生日	因果関係(報告医評価)	重篤度(報告医評価)	重篤度(企業評価)	転帰日	転帰内容
1	10	女	平成23年9月7日	ガーダシル	9QN01R	なし	めまい、気分不快	平成23年9月17日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月17日	回復
2	10	女	平成23年9月15日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月15日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月15日	回復
3	10	女	平成23年9月15日	ガーダシル	9QN01R	なし	発熱	平成23年9月15日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月16日	回復
4	10	女	平成23年9月17日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月17日	関連無し	非重篤	非重篤	平成23年9月17日	回復
5	10	女	平成23年9月17日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月17日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月17日	回復
6	10	女	平成23年9月20日	ガーダシル	9QN01R	なし	不快感	平成23年9月20日	関連無し	非重篤	非重篤	平成23年9月20日	回復
7	10	女	平成23年9月21日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神	平成23年9月21日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月21日	回復
8	10	女	平成23年9月21日	ガーダシル	9QN01R	なし	血圧低下、全身失神様症状	平成23年9月21日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月21日	回復
9	10	女	平成23年9月22日	ガーダシル	9QN01R	なし	蕁麻疹	平成23年9月22日		非重篤	非重篤	平成23年9月28日	回復
10	10	女	平成23年9月22日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月22日		非重篤	非重篤	平成23年9月22日	回復
11	10	女	平成23年9月22日	ガーダシル	9QN01R	なし	アナフィラキシー(疑)	平成23年9月22日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月22日	回復
12	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	あり 車酔い、朝起き悪く、立ちくらみ、など起立性調節障害の症状あり。接種直前の血圧95/66	血管迷走神経反射	平成23年9月24日	関連有り		非重篤	平成23年9月24日	回復
13	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神	平成23年9月24日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月24日	回復
14	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神	平成23年9月24日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月24日	回復
15	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	なし	悪寒、頭痛、嘔吐	平成23年9月26日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年9月26日	未回復
16	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	なし	急性じんま疹	平成23年9月24日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月26日	軽快
17	10	女	平成23年9月24日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月24日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年9月24日	回復
18	10	女	平成23年9月26日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月26日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年9月26日	回復
19	10	女	平成23年9月26日	ガーダシル	9QN01R	なし	局所(接種部位付近)の腫脹、痛み	平成23年10月18日	関連有り	非重篤	非重篤		
20	10	女	平成23年9月27日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神、痙攣	平成23年9月27日	評価不能	非重篤	重篤	平成23年9月27日	回復
21	10	女	平成23年9月27日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月27日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年9月27日	回復
22	10	女	平成23年9月27日	ガーダシル	9QN01R	なし	ショック	平成23年9月27日	評価不能	非重篤	重篤	平成23年9月27日	回復
23	10	女	平成23年9月29日	ガーダシル	9QN01R	あり 昨年、自転車転倒事故あり、頭部外傷(頭蓋内出血) けいれん様発作あり	失神発作	平成23年9月29日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月29日	回復
24	10	女	平成23年9月29日	ガーダシル	9QN02R	なし	迷走神経反射の疑い	平成23年9月29日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年9月29日	回復
25	10	女	平成23年9月29日	ガーダシル	9QN01R	なし	鼻出血、頭痛、口唇腫脹	平成23年10月1日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年11月15日	回復
26	10	女	平成23年9月30日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月30日	関連無し	非重篤	非重篤	平成23年9月30日	回復
27	10	女	平成23年9月30日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年9月30日	関連無し	非重篤	非重篤	平成23年9月30日	回復
28	10	女	平成23年9月30日	ガーダシル	9QN01R	なし	気分不良	平成23年9月30日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年9月30日	回復
29	10	女	平成23年9月30日	ガーダシル	9QN02R	なし	痛みによる失神	平成23年9月30日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年9月30日	回復
30	10	女	平成23年10月1日	ガーダシル	9QN01R	なし	接種直後の失神発作	平成23年10月1日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年10月1日	回復
31	10	女	平成23年10月3日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成23年10月3日				平成23年10月3日	回復
32	10	女	平成23年10月3日	ガーダシル	9QN01R	あり 数日前から喉の痛みと咳が出ていたが発熱はなかった。	血管迷走神経反射	平成23年10月3日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年10月4日	回復
33	10	女	平成23年10月4日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神、痙攣	平成23年10月4日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年10月4日	回復
34	10	女	平成23年10月11日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成23年10月11日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年10月11日	回復
35	10	女	平成23年10月15日	ガーダシル		なし	ふらつき	平成23年10月15日	関連無し	非重篤	非重篤	平成23年10月15日	回復
36	10	女	平成23年10月22日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射による失神	平成23年10月22日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年10月22日	回復
37	10	女	平成23年11月14日	ガーダシル	9QN01R	なし	じんましん	平成23年11月14日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年11月15日	回復
38	10	女	平成23年11月21日	ガーダシル	9QN02R	なし	橈骨神経麻痺、末梢性浮腫、四肢痛	平成23年11月21日		非重篤	重篤		不明
39	10	女	平成23年11月26日	ガーダシル	9QN01R	なし	失神	平成23年11月26日	評価不能	非重篤	非重篤	平成23年11月26日	回復
40	10	女	平成23年11月29日	ガーダシル	9QN02R	なし	失神、挫傷	平成23年11月29日	関連有り	非重篤	重篤	平成23年11月29日	未回復
41	10	女	平成23年11月29日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成23年11月29日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年11月29日	回復

NO	年齢 (代)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	基礎疾患など	副反応名	副反応発生日	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	重篤度 (企業評価)	転帰日	転帰内容
42	10	女	平成23年12月3日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成23年12月3日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年12月3日	回復
43	10	女	平成23年12月27日	ガーダシル	9QN02R	あり 食品アレルギー(おこのみやき)	発熱と下痢	平成23年12月27日	評価不能	非重篤	非重篤		不明
44			平成23年12月10日	ガーダシル	9QN02R	あり 食物アレルギー(キウイ)、11月下旬 インフルエンザ予防接種	失神	平成23年12月10日	関連有り	非重篤	非重篤	平成23年12月10日	回復
45	20	女	平成23年12月27日	ガーダシル	9QN01R	なし 10月28日 第一回目接種	注射をうけた当日の夜39.1℃出た。	平成23年12月27日	評価不能	非重篤	非重篤		軽快
46	10	女	平成24年1月6日	ガーダシル	9QN02R	なし	頸部リンパ節腫脹痛み、全身の痛み	平成24年1月7日	関連有り	非重篤	非重篤		
47	10	女	平成24年1月18日	ガーダシル	9QN01R	なし	迷走神経反射	平成24年1月18日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年1月18日	回復
48	10	女	平成24年1月21日	ガーダシル	9QN02R	なし	痙攣	平成24年1月23日	関連有り	非重篤	重篤	平成24年1月23日	回復
49		女	平成24年1月31日	ガーダシル	9QN01R	なし	血管迷走神経反射	平成24年1月31日	評価不能	非重篤	非重篤	平成24年1月31日	回復
50		女	平成24年2月4日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成24年2月4日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年2月4日	回復
51	10	女	平成24年2月18日	ガーダシル	9QN01R	あり エピアレルギー	意識消失発作	平成24年2月18日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年2月18日	回復
52	10	女	平成24年2月24日	ガーダシル			失神、けいれん	平成24年2月25日				平成24年3月15日	回復
53	10	女	平成24年2月25日	ガーダシル	9QN02R	なし	気分不良、顔色不良	平成24年2月25日			非重篤	平成24年2月25日	回復
54	10	女	平成24年3月8日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成24年3月8日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月8日	回復
55	10	女	平成24年3月10日	ガーダシル	9QN02R	なし	迷走神経反射	平成24年3月10日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月10日	回復
56	10	女	平成24年3月22日	ガーダシル	9QN01R	なし	迷走神経反射	平成24年3月22日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月22日	回復
57	20	女	平成24年3月12日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成24年3月12日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月12日	回復
58	10	女	平成24年3月23日	ガーダシル	9QN03R	なし	血管迷走神経反射	平成24年3月23日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月24日	回復
59	10	女	平成24年3月27日	ガーダシル	9QN01R	インフルエンザ予防接種で上腕の腫脹	失神発作	平成24年3月27日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月27日	回復
60	10	女	平成24年3月28日	ガーダシル	9QN02R	なし	血管迷走神経反射	平成24年3月28日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月28日	軽快
61	10	女	平成24年3月29日	ガーダシル	9QN03R	なし	血管迷走神経反射	平成24年3月29日	関連有り	非重篤	非重篤	平成24年3月29日	回復
62	10	女		ガーダシル			失神	平成23年9月29日	関連有り	非重篤	非重篤		回復

(MedDRA/J Version (14.0))